

2 国際交流のあゆみ

(1)宮城県の国際交流のあゆみ

本県は、国際交流においても古い歴史を持っている。1613年（慶長18年）支倉常長が伊達政宗の遣欧使節としてスペイン・ローマに渡ったことは当時として画期的な出来事だった。また、1804年（文化元年）には、遭難した石巻の千石船「若宮丸」の乗組員の津太夫、儀兵衛、多十郎、左平の4人が、日本人としてはじめて世界一周を果たし、長崎に帰国している。更に、1886年（明治19年）アラスカに渡りイヌピアット族の教育と経済開発に一生を捧げた安田恭輔、1897年（明治30年）カナダに渡航しカナダの漁業の発展に貢献した及川甚三郎など、先人たちの進取の精神は後の人々にも受け継がれ、現在でも各分野において積極的な国際交流への取組がなされている。

平成16年6月末現在、県内の自治体における姉妹・友好交流としては宮城県及び22市町が世界各地の38都市（地域）との交流を行っており、二百数十余の民間国際交流団体においても活発な交流活動が展開されている。なかでも、昭和62年の既存の宮城県海外協会を改組して設立された財団法人宮城県国際交流協会は本県における中核的民間国際交流組織として、また未来の東北博覧会の成功を記念して昭和63年に設立された財団法人未来の東北博覧会記念国際交流基金は国際交流事業に対する助成を主たる事業として、それぞれ本県の国際交流の推進に大きな役割を果たしている。

平成2年4月に東北地方では発の国際定期路線として仙台－ソウル線が開設され、同年7月にはグアム・サイパン線も開設された（現在の仙台－グアム線）。平成4年12月には仙台空港の2,500m滑走路の共用が開始され、その後も、仙台－香港線、大連・北京線、ホノルル線、上海・北京線が順次開設された。さらに、平成10年3月には3,000m滑走路が完成し、北米・欧州への直行便就航が可能となった。同年5月には、東北地方で初の国際定期便が仙台－ソウル間に就航し、平成15年2月には仙台－長春間にも定期路線が就航、平成16年

1613(慶長18)年	10	伊達政宗の命を受け支倉常長がスペイン国王、ローマ法王と謁見するため月の浦を出帆(1620年帰国)
1615(元和元年)		支倉常長が、スペイン国王フィリップ3世、ローマ法王パウル5世と謁見
1804(文化元)年	9	遭難した石巻の千石船「若宮丸」の乗組員4人が、日本人としてはじめて世界一周をし、11年ぶりに帰国
1878(明治11)年		国際貿易の機能を含む野蒜築港着工(着工後6年で建設中止)
1886(明治19)年		安田恭輔(後のフランク安田、石巻市出身)がアラスカへ渡航(石巻市史)
1906(明治39)年頃		及川甚三郎(東和町出身)が移住団をつくりカナダへ渡航(東和町史)
1930(昭和5)年		宮城県海外協会設立
1940(昭和15)年		仙台空港が熊谷陸軍飛行学校増田分校教育隊練習基地として設置される
1947(昭和22)年		仙台ユネスコ協会が我が国初の民間ユネスコ活動団体として設立される
1957(昭和32)年		仙台市とアメリカ・カリフォルニア州リバサイド市が姉妹都市を締結(全国で2番目の姉妹都市締結)
1968(昭和43)年		宮城県とロサンゼルス市が「貿易の進展に関する共同声明」を締結
1971(昭和46)年		仙台港開港
1978(昭和53)年	6	仙台空港に初の国際チャーター便が就航
1982(昭和57)年	6	東北新幹線開業(盛岡－大宮間)
1984(昭和59)年		県内初の大規模な国際会議である「民間ユネスコ運動世界大会」及び「国際ウイルス学会」が開催され
1986(昭和61)年	3	仙台国際貿易港整備計画決定
1987(昭和62)年	1	東北インテリジェント・コスモス構想推進委員会発足
	3	財団法人仙台コンベンションビューロー設立
	6	宮城県と中国吉林省が友好県省を締結
	8	財団法人宮城県国際交流協会が宮城県海外協会を改組して設立
	12	宮城県国際交流推進連絡会議設立
1988(昭和63)年	3	財団法人未来の東北博覧会記念国際交流基金設立
	4	仙台空港の2,500m滑走路拡張工事に着手(1993年供用開始)
1989(平成1)年	4	宮城県が総務部に国際交流室を、仙台市が企画局に国際交流課を設置(県国際交流室は1990年から国際交流課)
	4	宮城県留学生交流推進会議設立
1990(平成2)年	1	自治省が財団法人宮城県国際交流協会を地域国際化協会に認定
	4	仙台－ソウル定期便就航
	5	宮城県及び塩釜市・石巻市・気仙沼市とシアトル港湾局(アメリカ)が友好港を提携
	7	仙台－グアム・サイパン定期便就航
	11	宮城県とブリティッシュ・コロンビア州(カナダ)が教育交流協定を締結
1991(平成3)年	3	「宮城県国際交流推進大綱」策定
	9	仙台国際センター開館
	10	日米市長・商工会議所会頭会議
	11	仙台－シンガポール定期便就航
	12	仙台－釜山・濟州島定期便就航
1992(平成4)年	7	東北国際交流協会連絡協議会設立
	8	米国・デラウェア州において「宮城紹介展」開催
	9	ドイツ・ザールランド州との交流事業「宮城県友好交流留学生推進事業」開始(以後毎年、大学生2名を10ヶ月間相互に派遣・受入れ)
	10	中国吉林省と第3次交流計画締結
	12	韓国ソウル市に社団法人宮城県国際経済振興協会が海外事務所開設
	12	仙台空港2,500m滑走路拡張工事完成

1993(平成 5)年	11	ドイツ・ザールランド州において「宮城県紹介展」開催
	12	仙台ー香港定期便就航
1994(平成 6)年	9	仙台ー大連・北京定期便就航
	10	中国吉林省と第4次交流計画締結
	11	仙台ーホノルル定期便就航
	11	アメリカ・デラウェア州と交流事業合意書締結
1995(平成 7)年	4	仙台空港3,000m滑走路拡張整備事業着工
	6	アメリカ・デラウェア州との交流事業「海外交流ネットワーク人材育成事業」開始
	7	東南アジアコンテナ定期航路開設
1996(平成 8)年	1	仙台空港心旅客ターミナル国際線部分完成(3月供用開始)
	2	北米／日本・アジア／地中海コンテナ定期航路開設
	10	中国吉林省と第5次交流計画締結
1997(平成 9)年	3	仙台ーソウル定期便デیلیー化・仙台ー釜山便休止
	4	日本／北米西海岸コンテナ定期航路開設
	5	宮城県知事がデラウェア州を訪問。近い将来の姉妹提携に向けて努力する旨の覚書に署名
	7	「宮城・吉林友誼園」開園式・宮城県友好訪問団の派遣(友好提携10周年記念)
	8	吉林省友好代表団の受入(友好提携10周年記念祝賀会開催)
	9	デラウェア州訪問団(団長:デラウェア州知事)が来県。両県知事が姉妹県州締結に関する議定書に
1998(平成10)年	12	2002FIFAワールドカップTM仙台宮城大会開催決定(宮城スタジアム)
	3	仙台空港3,000m滑走路供用開始
	3	仙台ー上海・北京線就航
	4	仙台港国際ビジネスサポートセンター(仮称)起工式
	7	ブラジル宮城県人会創立45周年記念宮城県ブラジル親善訪問団の派遣
1998(平成10)年	9	デラウェア州知事等訪問団来県
	9	韓国観光公社仙台支社業務開始
	9	アジア・太平洋環境会議(エコ・アジア'98)開催
	10	国際交流経済サミット仙台会議開催
	10	吉林省友好代表団の来県
	11	江沢民中国国家主席来県
1999(平成11)年	4	デラウェア州訪問団来県
	5	東北地方初の国際航空貨物定期路線(仙台ーソウル間)開設
	6	宮城県中国浙江省訪問団派遣事業
	6	日本／アジアコンテナ定期航路開設
	7	仙台空港の運用時間が1時間30分延長(午前8時～午後9時)
	9	第1回日米姉妹都市会議開催
	11	SACT(仙台エアカーゴターミナル㈱)新施設第1期分供用開始
2000(平成12)年	1	吉林省友好代表団来県
	1	中国浙江省訪問団来県
	1	デラウェア州協議団来県
	3	仙台港国際ビジネスサポートセンター(愛称:アクセル)グランドオープン
	7	SACT(仙台エアカーゴターミナル㈱)新貨物施設稼働
2001(平成13)年	10	デラウェア州に宮城県交流訪問団派遣
	2	吉林省と第7次交流計画締結
	4	仙台塩釜港が特定重要港湾昇格
	4	吉林省友好訪問団来県
	5	宮城県知事がイタリア・ローマ県を訪問。姉妹県提携に関する覚書に署名
	7	仙台空港の運用時間が1時間延長(午前7時30分～午後9時30分)
2002(平成14)年	10	ローマ県訪問団(団長:ローマ県知事)が来県。両県知事が姉妹県締結に関する議定書に締結
	12	2002FIFAワールドカップTM・イタリアサッカーチームが仙台市でのキャンプ開催決定
	1	吉林省第8次交流計画事前協議団を派遣
	5	吉林省友好代表団来県
2003(平成15)年	6	ローマ県訪問団来県
	6	2002FIFAワールドカップTM宮城大会開催(宮城スタジアム)
	2	仙台ー長春間 定期路線就航
	4	宮城県産業経済部に「国際経済室」を設置
	4	宮城県産日本酒とローマ県産ワインをトータルでプロモーションするための「コンペ di Vino Romano」事
	5・7	デラウェア州政府から宮城県北部連続地震に対する見舞いメッセージが届く
	6	吉林省へ重症急性呼吸器症候群(SARS)被害への見舞金(200万円)を贈呈
2004(平成16)年	10	吉林省教育視察団来県
	11	東北6県の合同で「東北フェアin上海」開催
	12	吉林省医療技術調査団来県
	2	吉林省第9次交流計画事前協議団来県
	3	「2004年日中経済協力会議於-仙台」が仙台市に於いて開催
2004(平成16)年	4	宮城・ローマ3周年記念イベントの一環として三越イタリアフェアにおいて各種イベントを実施
	6	「コンペ di Vino Romano」事業から「ローマと宮城を繋ぐワイン」が誕生、販売を開始
	8	岩手県と合同で「大連商談会」を開催
	8	宮城県文化交流訪問団派遣
	9	仙台ー台北間 定期路線就航
	10	宮城・ローマ友好姉妹県締結三周年記念イベント開催
	10	国際交流課長等をローマ県に派遣 交流事業の調整、意見交換を実施
	10	宮城スローフード協会等主催でローマ市、ミラノ市において「日本酒セミナー」を開催
	10	宮城の地酒のPRを実施
	11	吉林省第9次交流計画締結

11	宮城県交流計画協議団をデラウェア州に派遣，平成17年度以降における交流協議 デラウェア大学でのJETプログラム説明会(宮城県のPR活動)をクアニュー YORK と共催で初めて実施
----	--

2005(平成17)年	1	宮城県環境生活部長とデラウェア州経済開発局長が交流事業合意書に署名 (対象期間:2年間→無期限化)
	2	NPO派遣モデル事業を創設し、1団体をデラウェア州に派遣
	4	宮城県大連事務所(社団法人宮城県国際経済振興協会)の開設
	4	吉林省政府代表団来県
	6	吉林省に宮城県教育庁訪問団派遣
	7	吉林省に宮城県実務者協議団派遣
	7	吉林省人民代表大会訪問団来県
	8	吉林省文化交流訪問団来県
	8	角田高等学校とデラウェア州ドーバー高等学校とが姉妹校を締結
	8	ハワイ宮城県人会復興10周年記念式典に宮城県訪問団(団長:副知事)派遣
	9	吉林省の「第1回北東アジア投資貿易博覧会」に宮城県訪問団(団長:副知事)派遣
	9	イタリア貿易振興会仙台事務所開設
	10	吉林省教育庁訪問団来県
	10	吉林省地震局訪問団来県
11	デラウェア州ドーバー市長、大学関係者来県	
11	吉林省民政庁訪問団来県	
2006(平成18)年	1	「みやぎデラウェア友好交流展」を県庁で開催
	2	宮城スローフード協会と共催で、パネルディスカッション「イタリアとみやぎのスローフードの魅力」を開催
	3	吉林省友好訪問団来県
	4	宮城県が産業経済部に新たに国際局(国際政策課、国際交流課、国際経済課)を設置
	5	「2006日中経済協力会議-吉林」に宮城県訪問団(団長:知事)参加
	5	吉林省統計局訪問団来県
	7	吉林省に宮城県教育視察団派遣
	8	吉林省に宮城県文化交流訪問団派遣
	9	吉林省の「第2回北東アジア投資貿易博覧会」に宮城県訪問団(団長:副知事)派遣
	11	ロシア連邦ニジェゴロド州政府調査団が来県
	12	「みやぎ国際戦略プラン」策定
	2007(平成19)年	2
3		宮城・デラウェア教育交流計画により本県高校生がデラウェア州を訪問
4		ロシアニジェゴロド州知事が来県「日本国宮城県とロシア連邦ニジェゴロド州との間の協力に関する覚書」締結
4		宮城県米国訪問団を派遣(姉妹交流10周年記念行事のためデラウェア州訪問、東北大学米国事務所開所式、南カリフォルニア県人会訪問、企業訪問等を実施)
4		イタリア貿易振興会が日伊デザインセミナーを本県で開催
6		吉林省友好代表団来県(「宮城・吉林友好フェスタ」として、吉林省写真展等を実施)
6		イタリア貿易振興会等が日伊ナノテクフォーラムを本県で開催。イタリア貿易省副大臣、イタリア貿易振興会駐日代表等が知事表敬訪問。
6		ロシア連邦ニジェゴロド州他のジャーナリスト訪問団が来県
7		「多文化共生社会の形成の推進に関する条例」制定
7		海外交流ネットワーク人材養成事業による本県大学生のデラウェア州訪問
7		海外交流ネットワーク人材養成事業によるデラウェア大学学生の本県受入
8		吉林省文化交流訪問団受入(剪紙芸術展の開催)
8		吉林省の第三回北東アジア投資貿易博覧会に参加する宮城県訪問団を派遣
10		海外自治体幹部交流協力セミナー2007による海外自治体幹部の本県受入(デラウェア州から2名参加)
11	吉林省旅游局訪日団の受入	
11	吉林省教育視察団の受入	
11	駐日イタリア大使館学術文化担当官の副知事等表敬訪問	
2008(平成20)年	1	吉林省商務庁訪問団の受入(第4回北東アジア投資貿易博覧会PR)
	2	交流事業担当者のローマへの派遣
	6	ポーランド「国際産業研究開発展」への東北大学の出展支援
	7	「第9次交流計画協議書」の見直しに係る吉林省協議団の受入
	7	宮城県文化交流訪問団の派遣(茶道文化交流茶会の開催)
	7	海外交流ネットワーク人材養成事業による本県大学生のデラウェア州訪問
	7	海外交流ネットワーク人材養成事業によるデラウェア大学学生の本県受入
	8	県職員吉林省東北師範大学へ派遣(1名)
	9	第四回北東アジア投資貿易博覧会への参加に合わせ「第9次交流計画協議書」第三期覚書調印(平成21~22年度)のため宮城県訪問団を派遣(調印日9.3)
	9	海外自治体幹部交流協力セミナー2008による海外自治体幹部の本県受入(デラウェア州から2名参加)
	9	ミラノ「ナノフォーラム」にへの東北大学研究者のスピーチ参加支援
	12	経済交流協議担当者がデラウェア州を訪問し、経済交流協議を実施
12	駐日イタリア大使の知事等表敬訪問受入	